

令和 6 年度 阿久比町教育委員会
事務点検・評価報告書
(令和 5 年度実施事務事業)



令和 6 年 9 月
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

本報告書は、令和5年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

令和6年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 教育委員会の活動状況

1	教育委員会の構成・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2	教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・	5
3	総合教育会議の開催状況・・・・・・・・	5
4	教育委員会後援名義使用の状況・・・・・・・・	5
5	学校訪問の開催状況・・・・・・・・	5
6	教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）・・・・	6

II 教育委員会施策の自己点検・評価

●学校教育関係

1	幼保小中一貫教育の推進・・・・・・・・	8～9
2	特別支援教育の充実・・・・・・・・	10～11
3	学校施設及び設備の整備・改修等の推進・・・・	12～15
4	安全安心な学校給食センター運営・・・・	16～17

●社会教育関係

5	生涯学習推進事業・・・・・・・・	18～20
6	多様な学習機会の提供・・・・・・・・	21～23
7	魅力ある図書館づくりの推進・・・・・・・・	24～27
8	スポーツ施設及び設備の整備等の推進・・・・	28～31

III 学識経験者の意見

教育委員会事務評価報告書・・・・・・・・	33～37
----------------------	-------

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

令和5年4月1日～令和5年9月30日

役 職	委 員 名	任 期	備 考
教 育 長	竹 内 淳	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
教 育 長 職務代理者	竹内比名子	令和元年10月1日～令和5年9月30日	
教 育 委 員	中條屋由香里	令和2年10月1日～令和6年9月30日	
教 育 委 員	稲葉 清仁	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
教 育 委 員	竹内 賢司	令和4年10月1日～令和8年9月30日	

令和5年10月1日～令和6年3月31日

役 職	委 員 名	任 期	備考
教 育 長	竹 内 淳	令和5年4月1日～令和8年3月31日	
教 育 長 職務代理者	中條屋由香里	令和2年10月1日～令和6年9月30日	
教 育 委 員	稲葉 清仁	令和3年10月1日～令和7年9月30日	
教 育 委 員	竹内 賢司	令和4年10月1日～令和8年9月30日	
教 育 委 員	竹内比名子	令和5年10月1日～令和9年9月30日	

2 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例及び臨時教育委員会会議を開催し、議案16件の審議を行った。

実施期間 令和5年4月 から 令和6年3月 まで

定例会 12回 臨時会 5回

3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成27年度に町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。令和5年度は令和5年12月13日（水）に阿久比町役場会議室101で開催し、下記の議題について検討した。

議 題 「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）導入について」

4 教育委員会後援名義使用の状況

事務局による書類審査を行った。また、記載内容に疑義のあったものについては、事務局より申請者に改めて聴き取りを行い、可否を決定した。

申請数 51件 許可数 51件

5 学校訪問の実施状況

学校参観という形で、教育委員や教育長、教育委員会の職員が学校へ出向き、授業等を視察した。その後、学校・園幹部と、授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する園児・児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについてより良い学校・園運営のための意見交換を行った。

開催日	学校名	備考
5月26日（金）	南部小学校	
6月13日（火）	阿久比中学校	
6月30日（金）	草木小学校	
9月20日（水）	東部小学校	
9月26日（火）	ほくぶ幼稚園	
10月20日（金）	英比小学校	

6 教育委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）

令和5年度は下記の行事に出席した。

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
- ・教職員辞令伝達式
- ・愛知縣市町村教育委員会連合会定期総会
- ・知多地方教育事務協議会
- ・知多地方教育委員研修会
- ・阿久比町教育支援委員会
- ・いじめ等問題対策連絡協議会
- ・二十歳の祝典
- ・青少年健全育成推進大会
- ・生涯学習フェスティバル
- ・文協まつり
- ・書き初め大会（表彰式）
- ・凧あげ大会
- ・ダイヤモンド婚者、金婚者お祝いの会
- ・こどものまち あぐいっこ Town
- ・野外音楽会
- ・阿久比町制70周年記念第75回阿久比スポーツフェスティバルレクリエーション大会

など

Ⅱ 教育委員会施策の自己点検・評価

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
-----	---------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 中学校3年生における「めざす生徒像」を定め、阿久比町の子どもたちに生きる力を身につけさせ義務教育を修了できるよう取り組んでいる。阿久比町内全ての大人が子どもたちと関わり、阿久比町全体が学び舎となって、子どもを育てることをめざしている。幼保小中の職員(保育士・教諭)、そして保護者や地域や行政職員を加えプロジェクトを組織し、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の実現に取り組み、今日的課題に対し、活動の在り方や方法を模索し、見直しを進め、阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトのさらなる浸透を図る。

【令和5年度の実施状況『4部会の取組』】

○ 幼保小接続部

幼保教員・保育士の小学校研修、小中学校教員の園研修など、幼稚園・保育園と小学校の接続に焦点を当てた取組を行った。近年コロナ禍でなかなか行うことができなかった直接的な関わりを園児・児童も職員も行うことができた。5月に行った小学校体験研修(前年度に幼稚園・保育園の年長クラスを担当した先生方が行う)や夏休みに行った小中学校



【園児と小学1年生との交流】

教員の園研修では、互いに異校種の教育体験から園・学校の教育のつながりを再確認することができた。10月には町一斉幼保小交流会を行った。各校1年生は、来年度町内小学校へ入学予定の年長園児をおもてなし、下級生を迎え自分が上級生になる心構えを準備することができた。2月に行われた小学校入学説明会での交流会では、10月に行われた交流会時よりも落ち着いて小学校教諭の話を聞き、より意欲的に授業を参観する園児の姿があった。入学に向けて、心の準備ができはじめている様子だった。

○ 小中接続部

小学校と中学校の接続に焦点を当てた取組を行った。中学3年生代表が母校を訪れ中学校生活についての質問に答えて交流する「中学校の先輩の話を聞く会」を12月に実施した。ICTを用いて小学生から事前に質問を集約する方法も定着し、中学校のことをより具体的に話をすることができた。教師の異校種間交流を引き続き進め、小学校教諭が中学校で、中学校教諭が小学校で授業をする機会を研修として今年度も行った。「段差なき教育」について改めて考える機会となった。1月に行った入学説明会では、中学校の6時間目の授業を親子で自由に参観できる時間を初めて設けた。中学校の様子を知らせるよい機会となった。授業の雰囲気だけではなく、服装や持ち物についても知ることができる時間となった。



【中学校の先生による小学校での授業】 【先輩の話を聞く会】

○ 啓発連携部

啓発連携部では、従来から取り組んでいるノーメディアデーや学びウィーク、親子ふれあいキャンペーン、幼保小中高一貫あいさつ運動を進めた。また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、引き続き地域の方々と協働して取り組んだ。幼保小中高一貫あいさつ運動では、各校の実情に合わせ、取組方法を工夫した。

「学びウィーク」は、「がんばりカード」の利用や各種学習コンクールとタイアップさせ

ることで児童の意欲の向上を図った。親子ふれあいキャンペーンでは、新しい試みとして、各校・園で家庭での取組カレンダーを集め、町立図書館に成果を掲示した。地域や家庭に取組の様子を伝えることができた。

○ 特別支援教育部

特別な支援を必要とする園児・児童生徒に切れ目のない支援を提供できるように取組を進めた。特別支援教育指導員の幼稚園・保育園・小中学校への派遣や、発達障害や合理的配慮に関する研修会を行うことで子どもたちを支え続けることが



【幼保小中高一貫あいさつ運動】

できた。8月に特別支援(気になる子調査)に関する研修会を開催した。

例年、園・小中学校職員、子育て支援課職員による研修だったが、加えて放課後等デイサービスの職員も初めて一緒に研修に参加いただき、合理的配慮を踏まえた支援の取組や日頃の悩みなどの情報の交換をすることができた。児童・生徒に関わる各団体のつながりが広がりを見せている。また、この会と並行して、各校の特別支援コーディネーターの情報交換会も行った。コーディネーターが担うべき役割や個別の教育支援計画「きらきら」の活用の推進などについて話し合うことができた。

また、特別支援学級交流会では阿久比中学校の特別支援学級在籍生徒が出身小学校を訪問し、母校の特別支援学級児童とクイズやバウンドボール作りを通して楽しく過ごした。中学生のやわらかな声かけや励ましは、小学生を後押しし、会話が弾み、笑顔があふれていた。リーダーシップを発揮する中学生、お兄さんやお姉さんに安心して関わる小学生、和やかな雰囲気にもまれた交流会となった。



【特別支援に関する研修会】



【特別支援交流会】

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 阿久比町幼保小中高一貫プロジェクトは立ち上げから20年目を迎える。今日的課題を見据え、阿久比町の子どもたちの実態を把握し、未来に向けて必要な力をつけさせるために、第5期までの活動を見直し、新しい取組(「体力向上の推進」と「外国語活動の充実」)を推進する。

幼保小中高一貫教育として新たな枠組みとなり、特別支援教育については一貫教育の枠組みからは取り外すが、今まで培ってきた取組については、教育委員会と町の特別支援教育部の活動として継続していく。

施策名	2 特別支援教育の充実
-----	-------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 特別支援教育指導員が各学校を巡回し、保護者との面談や専門的立場から教員の支援・指導を行う。
- 学校支援員を配置し、特別支援学級在籍児童等の学習及び生活面での支援を行う。
- 障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供を行う。

【令和5年度の取組状況】

- 幼稚園・保育園から報告してもらっている特別な支援を必要とする児童について、指導主事及び学校教育課職員による巡回に加えて、特別支援教育指導員による巡回を行い専門的見地から見た意見を教育支援に生かしている。
- 子どもの就学について悩む保護者に対して、積極的に特別支援教育指導員との面談を実施し、必要な情報を提供することで、保護者の不安解消と就学に関する助言を行った。また、就学先を検討する時期については柔軟に相談対応ができるよう、交流センターに指導員室を設置するとともに、巡回計画を令和6年度に向け検討した。

各年度4月1日現在

年度	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
特別支援学級数（学級）	1 7	1 9	2 2	2 6	2 8	2 8
特別支援学級在籍児童生徒数（人）	7 4	8 7	1 1 5	1 3 8	1 4 1	1 3 7
支援員数（人）	1 9	2 2	2 7	2 7	2 7	2 8

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 本町の特別支援教育において、特別支援教育指導員は幼稚園・保育園・小中学校職員・学校支援員への助言、保護者との面談など、重要な役割を果たしている。また、子育て支援課所属の特別支援教育指導員との情報共有も定期的に行われており、幼保小中を通して児童生徒を支援できるのが強みである。

指導主事がコーディネーターとなり、連絡調整を行うなどして教育支援体制の充実につなげた。

- ◇ 特別支援学級数は高止まり傾向にあり、経験の浅い教員が担当となることも多い。対応に不安を抱えている教員も少なくないため、児童生徒個々の特性に合わせた対応力の向上

を図るため、特別支援教育指導員による教員への支援は依然として必要性を増している。

- ◇ 子どもの就学先決定は保護者にとって大きな決断となるが、年間の見通しを示すことで、保護者の意思決定時期のスケジュール感を全園・学校が共通認識をもって対応する必要がある。

施策名	3 学校施設及び設備の整備・改修の推進
-----	---------------------

(担当：学校教育課 庶務係)

【施策の概要】

○ 施設について

町内の4小学校1中学校の校舎は、築年数40年から50年経過しているものが多数あり老朽化による問題が多発している。児童生徒の安全を第一に考え、必要な整備や改修工事を順次行っている。また、阿久比中学校の生徒数の増加に対応すべく施設整備を行っている。

○ ICT機器・各種設備について

子どもたちが授業を受けるための安全で快適な教育環境を整備するためICT機器の導入等必要な設備や備品の整備をすすめたり、省エネルギー対策や既存照明器具の生産終了への対策を目的としたLED照明への切替事業を実施した。

【令和5年度の取組状況（工事・事業）】

○ 小中学校における今後の工事計画の改訂

1 阿久比町学校施設長寿命化計画（個別施設計画）改訂 3,663,000 円

各小中学校校舎の築年数や躯体の健全性（圧縮強度）、劣化状況を踏まえ、校舎の建替や長寿命化を計画的に行うことで財政負担の軽減・平準化を図るため、施設を80年間使用することを目標に（表1：下記参照）のとおり今後5年間の工事計画を策定

（表1）学校施設長寿命化計画（個別施設計画）における今後5年間の実施計画（案）

今後5年間の実施計画（案）					
事業名称	年度	2024	2025	2026	2027
		R6	R7	R8	R9
事業名称		学校名	学校名	学校名	学校名
新増築事業					
改築事業					
長寿命化改修					
大規模改修（老朽）					
大規模改修（トイレ）				阿久比中学校（体育館） 【トイレ改修工事】 金 13,852千円	華木小学校（屋内運動場） 【トイレ改修工事】 金 13,852千円
大規模改修（空調）		東部小学校（北・南校舎特別教室） 【空調設置工事】 金 20,350千円 華木小学校（北・南校舎特別教室） 【空調設置工事】 金 17,930千円	英比小学校（南西校舎特別教室） 【空調設置工事】 金 23,662千円		
施設整備					
部位修繕（防災機能強化含む）		南部小学校（北校舎） 【1階サッシ改修工事】 金 24,100千円 南部小学校（南東校舎） 【防火シャッター改修工事】 金 3,128千円	南部小学校（北校舎） 【2・3階サッシ改修工事】 金 49,896千円 南部小学校（北校舎） 【エレベータ新設工事】 金 59,400千円	英比小学校（北校舎） 【屋上防水工事】 金 23,550千円 南部小学校（北校舎） 【屋上防水工事】 金 29,418千円 阿久比中学校（北校舎） 【外壁改修工事】 金 76,274千円	東部小学校（北校舎） 【屋上防水工事】 金 25,757千円 東部小学校（南校舎） 【防火シャッター改修工事】 金 7,500千円 南部小学校（南東校舎） 【屋上防水工事】 金 11,458千円 阿久比中学校（体育館） 【屋上防水工事】 金 15,969千円
					英比小学校（北校舎） 【外壁改修工事】 金 34,316千円 南部小学校（北校舎） 【外壁改修工事】 金 42,866千円

○ 小学校校舎等改修工事・修繕（主なもの）

1 英比小学校職員駐車場増設工事 676,500 円

職員増に対応すべく、駐車場の増設工事を実施

2 英比小学校中庭整備工事 8,690,000 円

児童が放課や集会時等に活用できる交流場所として、中庭整備工事を実施

3 英比小学校浄化槽配管等改修工事 1,092,300円

老朽化のため配管等の改修を実施

4 各小中学校校舎等照明器具（LED）借上（4小学校分）

2ヶ月分 608,740 円（7年合計 25,567,080 円）

各小学校校舎照明のLED切替を実施



【英比小学校中庭整備工事】



【各小中学校校舎等 LED 借上】

○ 中学校校舎等改修工事・修繕（主なもの）

1 阿久比中学校北校舎防水工事 26,675,000 円

北校舎の防水工事を実施

2 阿久比中学校通学路樹木伐採工事 280,500 円

生徒の安全確保のため、通学路にかかる樹木等の伐採を実施

3 阿久比中学校普通教室パーテーション設置工事 482,900 円

特別支援学級数増に対応するため、普通教室へのパーテーション設置を実施



【阿久比中学校北校舎防水工事】

4 阿久比中学校保健室トイレ修繕 330,000 円

老朽化により活用出来ていなかった保健室用トイレの修繕を実施

5 各小中学校校舎等照明器具（LED）借上（中学校分） 2ヶ月分 336,160 円（7年合計 14,118,720 円）

阿久比中学校校舎照明のLED切替のため実施

【令和4年度からの繰越事業】

○ 小学校校舎等改修工事

1 英比小学校南西校舎外壁改修工事 21,054,000 円

普通教室棟の外壁改修（爆裂等外壁破損等の補修含む）工事を実施

○ 中学校校舎等改修工事

1 阿久比中学校武徳館吊り天井改修工事 14,298,900 円

生徒の安全を守るため、吊り天井の撤去および断熱材設置工事を実施

2 阿久比中学校普通教室パーテーション設置工事 482,900 円

特別支援教室を分割して利用するため、パーテーションの設置工事を実施

【令和５年度の取組状況（ＩＣＴ機器等導入）】

- 生徒数教職員数増加に伴うＩＣＴ機器購入（主なもの）

1 阿久比中学校電子黒板購入 379,500 円

通常学級用電子黒板１台を導入

2 阿久比中学校教師用パソコン借上 １ヶ月分 18,469 円（５年合計 1,108,140 円）

教師用（校務用）パソコン４台を追加導入

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 今後の工事計画について

令和５年度に学校施設長寿命化計画を改訂したが、計画として記載した５年間以降も施設の経年劣化に加え、２０年後には各校校舎が築８０年を迎えることもあり、改修のために多額の工事費がかかることが想定される。また、今後の児童生徒数、学級数が減少していくことを踏まえると、古い校舎を減築し、築年数５０年未満の校舎に集約する等、改修しながら活用することを検討する必要がある。

児童生徒の学習環境整備が最優先ではあるが、町の厳しい財政状況や学校整備基金の積立額等を考慮した上で工事を実施する必要がある。

- ◇ 大規模改修工事について

学校校舎棟におけるトイレ改修工事については乾式化・洋式化工事が完了したが、各校の特別教室への空調設置工事を優先してきたため、体育館トイレについては（表２：１５頁参照）のとおり複数校で未着手の状態である。今後大規模災害発生時には町民の避難所として活用されることが想定されることから、前述の長寿命化計画のとおり実施したい（計画では令和８年度以降に順次工事の予定をしている）。

また、空調設備については普通教室への設置が完了し、特別教室について（表３：１５頁参照）のとおり整備を進めている。但し、教室においては最も古い機器は導入から約１０年が経過しており、特別教室への設置完了後は設備の維持管理や機器更新についても検討していく必要がある。

なお、各校に設置されているプールについても老朽化が進んでいるため、令和７年度以降は交流センター内プール活用も進めていく必要がある。令和６年度はカリキュラム編成も含め、学校と協議しながら順次進めるための計画をしていく必要がある。

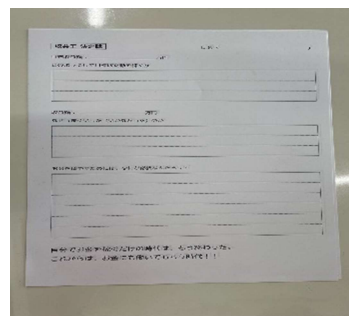
- ◇ GIGAスクール構想に係るＩＣＴ機器等について

GIGAスクール構想に関わる回線や機器整備については、令和４年度に更なるネットワーク回線強化のための回線追加工事を実施したほか、令和５年度は翌年度のクラス増に対応するためのタブレットや電子黒板等の追加導入を実施した。その結果、学習ソフト等を積極的に活用する授業も多くなり、児童生徒の学びのための環境を整えることが出来た。但し、特別支援学級への電子黒板の未導入の課題も残されている。

また、令和７年度には文部科学省が主導する「第２期 GIGA スクール構想（通称：NEXT

GIGA)」が開始され、令和2年度に導入した児童生徒用タブレットの入替およびネットワーク環境の分析等を実施することとされていることから、令和6年度中に、導入に向けた計画の策定や準備をしていく。

上記以外にも、今後も児童生徒の安全で快適な教育環境の確保のため、教育委員会としても学校現場に足を運ぶことで、問題箇所の早期発見に努めていきたい。また、他市町の先進事例を常に学び教育環境の充実のために努めていきたい。



【学習ソフト活用の様子。個別学習（左）学級内で学習内容を共有し学びを深め、振り返りシートで個々の学習にも繋げる】

（表2）各校体育館トイレ改修状況（○ 改修済 △ 一部改修 × 未改修）

東部小	英比小	草木小	南部小	阿久比中
○	○	×	×	△

※中学校は一部女子トイレのみ洋式化されている。

（表3）各校空調設備導入状況（○ 導入済 △ 一部導入）

	東部小	英比小	草木小	南部小	阿中
普通教室	○	○	○	○	○
その他 特別教室等	△ (R6工事予定)	△ (R6設計予定)	△ (R6工事予定)	○	○

※その他特別教室等については、図書室、音楽室、保健室、職員室等に設置しているが、理科室・図工室・家庭科室・視聴覚室等には設置されていない。

施策名	4 安全安心な学校給食センター運営
-----	-------------------

(担当：学校教育課 給食係)

【施策の概要】

- 学校給食センター「AGUMOGU」(令和2年8月供用開始)において、学校給食衛生管理基準の衛生管理の下、安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供する。
- アレルギー対応除去食(令和3年9月提供開始)について、卵・乳のアレルギーを有する児童、生徒、園児の保護者への調査票に基づき、除去食提供条件を満たし、除去食提供希望があった場合に、安全性を確保し、提供する。

【令和5年度の取組状況】

- 給食調理及び配送等委託業務を締結している業者と連携を図り、小学校・中学校190回、幼稚園189回、保育園226回の安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供した。
- アレルギー対応除去食提供については、学校・園への周知、保護者との面談、事前の準備、調理・配送シミュレーションの実施など万全の体制で実施した。保護者との面談は毎月実施し、児童、生徒、園児の現状を確認し、保護者の思い、家庭での試みも聞き取り、少しでもアレルギー症状がよくなるように助言等している。提供実績は、年間42回・延べ240人、平均4.2回/月・24人/月であった。
- 「給食献立コンテンツ作成事業」は、「住民税1%町民予算枠制度わくわくアイデア事業」として、「学校給食の郷土料理や行事食、不足しやすい栄養素(カルシウム、鉄など)を補うことができる献立、子どもに人気の献立などを中心としたレシピをホームページに掲載する。また、献立がイメージしやすいように料理写真も掲載する。」と提案・採択された事業。「AGUMOGU(あぐもぐ)給食レシピ50」と題して給食のレシピを50種類作成した。給食献立レシピのほかに料理名の由来、栄養士が工夫していることなど献立にまつわることも添えて紹介した。ホームページに掲載だけでなく、冊子にして各小中学校、幼稚園、各町立保育園、子育て支援センター、保健センターへ配付した。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ いまだ続いている物価高騰は、賄材料費(食材費)への影響が多大であり、令和4年9月から賄材料費10%相当分を令和5年度も継続して公費負担とした。賄材料費は、給食費として保護者負担としているため、令和5年度も給食費の増額なく給食を提供できた。高騰した物価は更なる高騰もあるため、給食費増額を保護者の負担とするのか、公費の負担継続とするのか他市町の状況も踏まえ検討せざるを得ない状況である。

- ◇ アレルギー対応除去食は、現在卵と乳のアレルギーに対応しているが、その他の食物アレルギーを有する児童、生徒、園児もいる。食物アレルギー対応は安全性の確保が必須であり、対応の基準方針等を検討する「食物アレルギー対応委員会」の設置について準備していく必要がある。食物アレルギーを有する児童、生徒、園児対象者については、継続して家庭との繋がりも保ちながら個々に沿ったアレルギー対応を行う必要がある。
- ◇ 「住民税 1% 町民予算枠制度わくわくアイデア事業」の「AGUMOGU（あぐもぐ）給食レシピ 50」については、家庭で参考にしていただければ給食についての会話も生まれ、給食を身近に感じていただけるのではないかと思います。
- ◇ 旧給食センターから新給食センターへは令和 2 年 8 月移転した。その時期は新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休校のため、小中学校の夏休みが短縮され、保育園とともに給食の提供という全く時間的余裕がない状況での移転であった。そのため、旧給食センター内は当時のままの手つかずの状態であった。今後は、英・北原保育園内の備品等を旧給食センターへ移動させることとなっているので、旧給食センター内の調理機器等設備について可能な限り処分をし、給食センターとしての役割を完全に終了する。



【参考 「AGUMOGU（あぐもぐ）給食レシピ 50」の「表紙」と「れんこんチップスレシピ」】

施策名	5 魅力ある生涯学習機会の提供
-----	-----------------

(担当：社会教育課 社会教育係)

【施策の概要】

- 町では、令和元年度策定の「阿久比町生涯学習推進計画」に基づき、“学び ふれあい 育む未来”を目標に掲げて生涯学習推進事業を実施している。各年齢層の多様な住民ニーズに応え、魅力ある学習の機会の提供に努めている。

【令和5年度の取組状況】

- こどものまちあぐいっこTown 329,818円

子どもの主体性を育て、異年齢間での交流を通して協調性や課題発見力を育てること、さらに社会の仕組みを学ぶことで社会性を育てること等を目的に実施した。令和5年度は12月9日(土)・10日(日)(両日ともに正午から午後3時)に中央公民館本館で実施した。なお、本事業は子育て支援グループむぎ・むぎに運営を委託した。

イベントの企画や運営に携わるこどもスタッフは、令和4年度のおよそ2.5倍、これまでで最大の61人が参加した。(令和4年度は25人)。新型コロナの影響によりこれまで参加を控え、待ち望んでいた子どもが多かったと考える。こどもスタッフの学年層は小学校4年生から高校生まで幅広い年齢が集まり、むぎ・むぎをはじめとする大人スタッフ9名とともに計9回のスタッフ会議等の活動を行った。むぎ・むぎからは、「初参加で企画が進まない子どもに対して、経験者の子どもや大人がサポートする光景がみられた」等の報告があり、異年齢の仲間との交流を通して成長する場になっていると考える。なお、令和5年度は、こどもスタッフ募集を呼びかける際、新規参加者によるスタッフ体制の強化を図るために、COCOO(コクー・保護者向け情報通信アプリ)や地区回覧により広く呼びかけたほか、小中学校教諭へのチラシ配布を働きかけた。

イベント当日は、2日間で564人(視察の大人を含む)の来場があり、前年度(465人)を上回った。参加した子どもたちは、「美容室」、「カフェ」、「銀行」等で仕事体験をしたり、仮想通貨「あぐ」で買い物をする等、楽しみながら社会の仕組みを学んでいた。また、こどもスタッフからは「前よりまちらしくなった」、「仕事をすることが楽しかった」等、意欲的に活動したことがうかがえる感想が多く寄せられ、9割を超えるスタッフが「来年も参加したい」と回答してくれた。



【あいさつするこどものまち「町長」】



【カフェで働く子ども】



【案内の仕事をする子ども】

(表1) こどものまち こどもスタッフ参加者数推移

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数	35	中止	中止	25	61

(表2) こどものまち 当日参加者数推移(視察の大人を含む)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数	795	中止	中止	465	564

○ 親子スポーツ体験 21,270 円

家族や友人等とのふれあいを深める機会の一環として、ニュースポーツなど親子で参加できるスポーツ体験を町スポーツ推進委員および株式会社CACの協力のもと実施した。令和5年度は9月10日(日)(午前9時30分から正午)にアグスポ(スポーツ村交流センター)多目的体育室、芝生広場で実施した。

なお、本事業はこれまで実施していた「親子ビーチボール大会」の代替事業として令和4年度より実施開始した。(親子ビーチボール大会は、各学校区から参加者確保等負担が大きいという声があがり、開催しないこととなった。)

当日は、51人(17家族)が参加し前年度(9人(3家族))を大きく上回った。これは、新型コロナの影響を受けなかったこと、参加意欲を促す目をひくデザインのチラシ等が要因と考える。当日、参加者は4グループに分かれ、スポーツ推進委員の指導によりファミリービーチ、フロッカー、モルックを順番に体験した。笑顔で楽しんだり、飛び上がって喜んだりする姿がみられ、家族や参加者間のふれあいにつなげることができたと考える。

(表3) 親子スポーツ体験 参加者数推移

年度	令和4年度	令和5年度
人数	9人(3家族)	51人(17家族)

○ 男女共同参画講演会 8,000 円

男女共同参画啓発のため、あぐい女性の会との共催で実施した。令和5年度は11月25日(土)(午後2時から午後3時半)にアグピアホールで実施した。

講師にNHK名古屋放送局 コンテンツセンター チーフ・リードの山本恵子氏を講師に招き、「男女平等参画は「男性活躍」がカギ!?～身の回りの「もやもや」から考えてみませんか?～」をテーマに講演をいただいた。男女共同参画における男性活躍の重要性についての講演があり、参加者からは「男女を入れ替えて考えて、気が付いていく事が大切だと感じた」、「阿久比町が例に取り上げられ、身近なこととして考えることができた」等の声が寄せられ、男女共同参画について考える場になったと考える。また、参加者47人中9割近くが講演内容に「満足した」と回答し好評を得た。



【モルックを楽しむ家族】



【親子スポーツ体験のチラシ】



【講師の山本氏】

講師選定についてはあぐい女性の会とともに8月から打診、承諾を頂き、広報、アグナビ、HP、あぐい女性の会会員へ案内したが、予定数より参加者数が少なかったことが反省点であった。なお、各案内は講演会を行う当月初旬頃に行ったため、令和6年度は案内時期を早め、より広く周知する。

(表4) 男女共同参画講演会 参加者数推移

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数	91	中止	中止	56	47

なお、前回評価を受けた「町民講座」、「リーダー研修会」は令和5年度に実施していないため今回未記載となっている。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 上記の若年層を主な対象とするこどものまちあぐいっこTownや親子スポーツ体験については、参加者が前年度より増加した。また、町制70周年事業時に実施した山車引き手体験も前回より若年層が大幅に増えた（今回（令和5年度）：39人、前回（平成30年度）：約5人）。これは、新型コロナの影響が薄れたことに加え、広報効果も要因と考える。広報紙やホームページに加えてアグナビやCOCOOを活用したことや参加につながる効果的なチラシが参加者増加につながったと考える。

一方、全世代を対象とする男女共同参画講演会については魅力的な講師や内容であったと考えるが、参加者が減少した。広報時期を早める等広報対策に改善の余地があると考えている。

多くの参加者が興味を持ってもらえるような講師を早めに選定、速やかに広報紙・ホームページに加えてアグナビにより広く周知することを徹底し、効果的なチラシの作成等、参加を促す対策に力を入れていく。

- ◇ こどものまちあぐいっこTownについては、むぎ・むぎ代表の植田千代美氏へ他団体との連携について投げかけたところ、「より広い異年齢間の交流ができるように、スタッフとして小中学生にとって“少し未来の先輩”である高校生や大学生の参加を増やしたい」と意見を受けた。町として近隣の高校や大学へ働きかけるなど支援していくことを検討し、子どもたちにさらに魅力ある事業につなげていきたい。

また、今後も各種生涯学習推進事業は関係団体と連携し運営することで、より魅力ある事業運営につなげていく。

施策名	6 多様な学習機会の提供
-----	--------------

(担当：社会教育課 公民館係)

【施策の概要】

○公民館の役割である「集う」「学ぶ」「結ぶ」機能を果たすため、また、町民の生きがいをづくり、知識教養の向上、健康増進を目的として、各種講座・教室を開講する。

【令和5年度の取組状況】

○生きがい教室・講座 326,000 円

生きがい教室・講座を19講座実施した。新型コロナウイルスの影響が薄まり、令和4年度の13講座から大幅に増やすことができた。

対 象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
青少年	1	キッズアートクラブ	11	15人	18人
	2	夏休み子ども教室	1	16人	10人
	3	メイキャップ講座	1	12人	9人
親 子	4	手づくりバレンタイン教室	1	12組	11組
	5	箱ずしとおこしものづくり教室	1	12組	9組
一 般	6	パソコン教室 ワードの基礎	9	10人	7人
	7	パソコン教室 エクセルの基礎	7	10人	10人
	8	本格和菓子講座	1	10人	10人
	9	手作りパン講座	1	12人	11人
	10	秋の手作りパン講座	1	12人	12人
	11	男性のための簡単料理教室	4	18人	9人
	12	そば打ち体験教室	1	15人	18人
	13	ソフトピラティス	4	20人	12人
	14	日本舞踊・歌謡舞踊講座	7	7人	3人
	15	狂俳教室	4	10人	11人
	16	川柳講座	7	20人	15人
	17	美術講座 美術館へ行ってみよう	2	18人	16人
	18	陶芸教室	2	10人	10人
	19	終活講座	1	20人	22人
	20	パソコン教室 基礎技能	8	10人	中止

○マイプロデュース・マイスタディ講座 150,000 円

学習したい方や自分の得意なことを活かして教えたい方が、自ら企画するマイスタディ講座・マイプロデュース講座を8講座採用し内6講座を実施した。

対 象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
一 般	1	アグピアホールでお箏を弾いてみよう	5	10人	5人
	2	書いて飾って楽しむ書	6	12人	8人
	3	ワインで生活をさらに豊かに	5	20人	5人
	4	消しゴムはんこ教室	5	10人	12人
	5	シニアヨガ	5	10人	15人
	6	楽しい合唱講座	5	20人	16人
	7	レッツ！切り絵キルト	6	10人	中止
	8	マジックを楽しもう講座	7	10人	中止

○阿久比町少年少女発明クラブ 補助額 100,000 円

阿久比町少年少女発明クラブを開講し、小学生及び中学生のクラブ員 35 人が年間 18 回にわたり木工、自然エネルギーの学習と実習、プログラムの学習、ペットボトルロケット製作、電気工作、施設見学等を行った。令和 4 年度はクラブ員を 30 人に制限していたが、令和 5 年度は 35 人を受け入れて活動した。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ アグピアホールの移動階段席について、設置と撤去を主に公民館職員のみで行っていたが、作業の全部または一部を手伝ってくれる部署が増えてきている。移動階段席やアグピアホールの設備を扱える職員が増えるよう今後も継続して働きかけていきたい。
- ◇ 発明クラブについて、年間計画を見直し、カリキュラムの水準を保ちながら活動を 1 回減らした。また毎回開始前に行う会場設営について、事務局のみで行っていたものを指導員にも手伝ってもらうよう依頼し、その結果数人の指導員が協力していただけるようになったため、準備の時間が大幅に短縮した。
- ◇ 就労している方や学生も公民館講座に参加しやすい様に、令和 4 年度には 3 講座だった土日開催の講座を令和 5 年度には 9 講座に増やした。人数が集まらずに開講できなかったものも一部あったが、年長から中学生までを対象とした講座を開催するなど、様々な世代の方を対象に講座を組むことができた。
- ◇ 中央公民館本館及びアグピアホールの利用者からは、特に設備面において様々な要望や意見をいただいている。全てに応えるのは予算的にも厳しいが、公民館に関わっている各分野の専門業者から知識を得ながら、出来る限り要望に答えていきたい。アグピアホールの音質に関する要望に対しては、音楽業者からアドバイスを貰い、公民館本館の倉庫に長期間保管してあった旧南館ホールのスピーカーを整備して活用することでコストを抑えつつ利用者にも満足していただけた。

◇ 中高生向け講座としてメイキャップ講座を開催したが、予想していたよりも申込者数が少なく、また高校生の参加が無かった。開催時期や募集方法を見直して再度開催したい。

また、新たな中高生向け講座を開拓するため、中学生の声を聞いて新しい目線で講座を企画していきたい。

施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
-----	-----------------

(担当：社会教育課 図書館係)

【施策の概要】

- 魅力ある図書館づくりを推進するために自発的な学習意欲に応えられるような蔵書や資料などの充実を図り、誰でも気軽に利用できる施設を目指す。
- 魅力ある図書館づくりのために、講座の開催、展示ホールを生涯学習グループの成果発表の場とするほか各種事業を開催する。

【令和5年度の取組状況】

各種講座（文学講座、童話作法講座、読書指導講座、子ども向け教室等）、年間を通して土・日・祝日に行うおはなし会等の行事の主なものは、以下のとおり。

○ 新しい講座・教室

＜笑いヨガ講座＞（講師謝礼 20 千円）

笑いとヨガを組み合わせた健康法に、絵本の読み聞かせを取り入れた講座を開催した。

＜親子講座＞（講師謝礼 10 千円）

親子で誕生日をテーマに絵本を読み、誕生日の数字を絵にしていき親子の楽しい思い出づくりの講座を開催した。

○ 保育園・学校との連携

＜保育園連携＞

4 月の子ども読書の日（4 月 23 日）にちなみ、保育園幼稚園等の園児が図書館見学と貸出体験を行い、読書指導グループぶんぶんの読み聞かせを行った。

＜学校連携＞

6 月に、草木小学校 3 年生（42 人）が、11 月には、英比小学校 2 年生（135 人）が、図書館探検（見学）と図書館研究（質問）を行った。

○ 図書の有効利用

図書リサイクルフェア（11 月 9 日から 11 月 19 日）を行い保育園、児童館、小学校、中学校等の公共施設に優先的に無償で譲渡した。また、一般の希望者へも無償で譲渡を行った。（図書リサイクルの内訳 注 1 参照）

○ 青空図書館（阿久比プレイガーデンプロジェクト事業）

春（5 月）と秋（9 月）に開催した。ふれあいの森に図書・雑誌を 800 冊運び、ブックト

ラックに並べ、青空の下での読書をしてもらい、図書館活動のPRを行い、春は110人、秋は85人の方が参加した。

○ おたのしみ会

7月に、読書指導グループぶんぶんの協力で、大型絵本の読み聞かせ、ペープサート、人形劇を公演するおたのしみ会を実施し、約130人の親子が参加した。

○ 開館40周年記念講演会（委託料 297千円）

7月30日に、アグピアホールにて歴史研究家の市橋章男さんによる開館40周年記念講演会（「家康を支えた実母・於大の方、その実像と久松家」～大河ドラマで描かれる於大の方の虚実～）を開催し、167人の方が参加した。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 町内外の利用者の方々の読書活動を推進し、町民の生涯学習活動にも貢献できた。
- ◇ 図書館資料については、新刊図書の購入と除籍をバランスよく行い、新しい情報を提供することができた。今後も利用者の要望に耳を傾け、バランスの良い蔵書を心掛ける。（図書館資料 蔵書増減数 注2参照）
- ◇ 展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として利用され、町の文化活動発展に役立っているため今後も続けていく。
- ◇ 魅力ある図書館づくりのための講座やイベントの開催にあたっては、幅広い年代層が参加できるよう、町民の生涯学習活動や子ども読書活動推進計画の推進に貢献できるよう、新しい講座やイベントを企画していく。
- ◇ 図書館利用者については、これまでどおり感染症予防対策に努めながら、来館者の増大を図れるよう魅力ある図書館づくりを推進していく。（図書館利用状況 注3参照）
- ◇ 図書館雑誌カバー広告については、自主財源の確保とサービスの充実を図ることを目的として、令和4年度からスタートしたが、令和4年度、5年度ともに1件のみの利用であるため、積極的に制度のPRを行い、利用件数の増加に努める。
- ◇ 開館時間が平日10時から18時、土日祝日10時から17時であるため、平日の夕方勤務や土日祝日勤務を避けるパートタイムの人が増えて、図書館勤務を希望する人が減っているため、専門的な知識を要する司書や勤務時間に制約のないパートタイムの確保が難しくなっている。指定管理制度や業務委託制度の導入を検討し、継続的な人員確保に努める。

(注1) 図書リサイクルの内訳

(単位：冊)

資料提供数	学 校	保育園等	個 人	計	リサイクル率	残 数
4,352	153	353	2,811	3,317	76.2%	1,035

(注2) 図書館資料 蔵書増減数

(単位：冊)

	4 末蔵書数	購入	寄贈等	除籍	5 末蔵書数
図書資料	112,004	3,509	88	3,067	112,534
視聴覚資料	7,873	136	3	7	8,005

(注3) 図書館利用状況

年 度	入館者数	貸出冊数	貸出人数
R 1	89,390 人	189,377 冊	38,826 人
R 2	59,520 人	141,446 冊	27,976 人
R 3	80,863 人	205,417 冊	40,006 人
R 4	81,047 人	201,825 冊	39,861 人
R 5	83,313 人	203,074 冊	40,665 人



【園児の図書館見学】



【青空図書館】





【40周年記念講演会】



【親子講座】

施策名	8 スポーツ施設における整備と利活用の推進
-----	-----------------------

(担当：社会教育課 体育係)

【施策の概要】

- 阿久比スポーツ村、町内各グラウンド、丸山武道場、白沢区民館、ふれあいの森などのスポーツ施設の整備に努め、全ての町民が安全に施設利用のできる環境整備を推進するとともに、町事業課や各種関係団体等と協力してイベントの企画を行うなど積極的に利用促進を図る。

【令和5年度の取組状況】

- “スポーツのまち・阿久比”にふさわしい環境整備と情報発信・町民のスポーツ活動支援の強化を目的に、体育係の執務場所を交流センター（アグスポ）へ移転するために交流センター受付等改修工事（事業費 3,080,000 円）を実施した。改修要望の多かった、多目的体育室バスケットゴール等改修工事（事業費 3,465,000 円）を行った。
また利用者の利便性向上を目的にスポーツ村野球場グラウンド整備工事（事業費 1,287,000 円）、野球場通路舗装工事（事業費 1,298,000 円）、スポーツ村道路標識改修工事（事業費 2,717,000 円）を実施した。
- 今後のスポーツ村施設整備のために、スポーツ村トイレ改修工事設計（事業費 7,150,000 円）、スポーツ村歩道整備工事設計（事業費 1,650,000 円）、陸上競技場トラック改修工事設計（事業費 2,750,000 円）を実施した。
- 令和5年内移転を予定していた交流センタートレーニング室の移転（事業費 311,000 円）は、空調設置工事設計の追加に伴い移転時期を次年度へ繰り越した（繰越額 255,200 円）。
また交流センタープールボイラー改修工事（事業費 86,350,000 円）は追加工事が判明したため施工時期を次年度へ繰り越した。
- 白沢グラウンドテニスコート補修工事（事業費 3,454,000 円）及び丸山公園武道場 LED 改修工事（事業費 803,000 円）を実施した。
- スポーツ村の利用者数・交流人口の増加につなげるとともに地域経済の振興等、地域創生の具現化を目的に阿久比スポーツ村再整備計画を策定した。（事業費 7,755,000 円）
- 阿久比町制70周年記念事業において、阿久比町スポーツフェスティバルを阿久比中学校運動場で開催した（事業費 3,887,255 円）。また各種目(競技団体)大会を実施した。健康づくりマラソン大会は天候不良のため中止した（事業費 836,599 円）。
- 阿久比町制70周年記念事業において、プロ・アマチュアスポーツ教室（バレーボール・バスケットボール・陸上・野球・サッカー）を行った。（事業費 517,000 円）

- 阿久比町制70周年記念事業において、(公財)日本サッカー協会 JFA 審判マネージャーの佐藤隆治氏による講演会を町内小学5・6年生を対象に実施した。
 題名:「夢に向かって」内容:子どもたちへ夢を持つことの大切さを伝える。

(表1) スポーツ村利用状況

施設名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
陸上競技場(団体)	件数	286	347	335
陸上競技場(個人)	人数	2,471	2,067	2,171
野球場	件数	248	257	262
室内練習場	件数	176	238	244
交流センター(団体)	件数	—	591	700
交流センター(個人)	人数	—	547	533
トレーニング室	人数	2,559	3,307	4,518

(表2) グランド利用状況

施設名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
白沢	グラウンド	件数 307	296	310
	テニスコート	件数 1,504	1,594	1,238
	多目的広場	件数 1	1	20
板山グラウンド	件数	210	229	229
草木グラウンド	件数	300	325	320

(表3) 丸山公園内施設利用状況参(運動広場、テニスコートは建設環境課所管)

施設名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
武道場	件数	874	961	982
運動広場	件数	343	341	302
テニスコート	件数	2,206	1,929	1,763

※丸山公園(運動広場、テニスコート)は昼間・夜間(照明)と区分があるが、他のグラウンドと比較するため、昼間のみの件数とする。人数の集計は行っていない。

(表4) 白沢区民館利用状況

施設名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
体育室	件数	502	559	623
大会議室	件数	91	132	200
会議室	件数	119	191	154
卓球場	件数	260	271	285

(表5) ふれあいの森利用状況

施 設 名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
パターゴルフ	人数	1, 7 8 6	1, 3 6 2	1, 5 5 8
デイキャンプ	人数	2 3	4 5 7	1, 0 0 0
体育室	人数	1 1, 7 0 6	1 1, 3 0 6	1 2, 8 3 7

(表6) 阿久比町制70周年記念事業 プロ・アマチュアスポーツ教室参加状況

教室名	講師	参加人数	開催日	開催場所
バスケットボール	デンソーアイリス	57人	令和5年8月19日	英比小学校 体育館
陸上	デンソーフリースセローズ	66人	令和5年9月3日	阿久比スポーツ村 陸上競技場
バレーボール	デンソーエアリービーズ	100人	令和5年9月18日	阿久比中学校 体育館
野球	ジェイプロジェクト硬式 野球部	70人	令和6年1月27日	阿久比スポーツ村 野球場
サッカー	F C刈谷	82人	令和6年2月12日	阿久比スポーツ村 陸上競技場

【自己評価・今後の課題】

◇ 今後の改修計画について

各施設老朽化が進んでいるため、安全な環境でスポーツを行うことができるよう、修繕、工事等を行った。どの施設も経年劣化が目立ち、抜本的な改修工事の時期を迎えている。個別施設計画とスポーツ村再整備計画に基づき、財政負担軽減策や費用の平準化を研究し計画的に施設修繕を実施する必要がある。

◇ 今後のスポーツ村の活用・整備について

スポーツ村再整備計画では、スポーツ村施設は今後5年間、施設の経年劣化による老朽化の改修と利用者のニーズを受けて計画する方針とした。また令和8年に開催されるアジア大会の練習会場の採択に向けて整備を図る。長期的な視点から各施設のあり方の検討を継続して研究し、その実現に向けた整備は令和11年度以降に予定するものとする。

交流センターは、スポーツだけでなく、文化的利用方法を検討し、全町民が集い、交流できる憩いの場所として整備する。



【写真：新しく設置した交流センター多目的体育室内バスケットゴール】

※高さ調節をすることにより小学生でも利用できるようになった。

Ⅲ 学識経験者の意見

教育委員会事務評価委員会報告書

令和6年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 竹 内 淳 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、令和5年度の阿久比町教育委員会事務について、令和6年6月26日、7月5日、7月25日と3回の委員会を開催し、点検・評価を行った。

次のとおり、評価結果を報告する。

令和6年8月1日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 田 中 悦 夫（元小学校長）

委 員 水 谷 正 治（元小学校長）

委 員 吉 住 まり子（元あぐい女性の会会長）

評価結果

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
	○ コロナの5類移行により、園児・児童・生徒及び関係職員の交流や研修を積極的に実施されたことは高く評価できる。特に幼保小接続では直接的な関わりができたことはよかった。特に教員間・保育士との連携がとれることが接続には大切であると考える。 ○ 〈小中接続部〉中学校の入学説明会で親子による授業参観を設けたことは、初めて中学校に子どもを送り出す保護者にとって大変有意義な時間になったことと評価できる。 ○ 小学校と中学校の接続に焦点を当てる取り組みを引き続き行っていただきたい。中学校での不登校生徒数増加が大きな課題であるため、きめ細かな児童・生徒理解が大切である。 ○ 〈啓発連携部〉親子ふれあいキャンペーンで、各家庭での取り組みカレンダーを町立図書館に掲示されたことは小中学校に通う子どもを持たない方にもこの取り組みを知ってもらい良い機会になったと思う。今後もいろいろな手段、方法を講じて町民の方々に周知していただけるよう努力していただきたい。 ○ 20年目に向けて、「体力向上の推進」「外国語活動の充実」の推進の具体的な取り組みに期待したい。特に体力向上に向けては、体力テストに結果が反映されるよう事前に目標を立てて取り組むことで、その成果が期待できるのではないかな。
施策名	2 特別支援教育の充実
	○ 特別支援教育指導員の幼稚園・保育園・小中学校への巡回や保護者との面談により、保護者の不安や悩みに寄り添った助言が出来るようになったことは新たな対応への機会となり評価できる。今後も更に充実されていくものと期待している。 ○ 指導主事が就学時健診で気になる子どもを把握したり、巡回して園と学校をつないだりして、コーディネーターの役割を担っていることはすばらしいことである。 ○ 特別支援学級は経験の浅い担任が多いため、特別支援教育指導員の巡回指導はとてもありがたい。また、各園・校の担当者の力量向上につながる研修会の実施もよろしくお願いいたします。

施策名	3 学校施設及び設備の整備・改修の推進
○ 児童生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう、また、省エネルギー対策を考慮した LED 照明器具への切り替え事業を実施されたことは評価できる。 ○ 草木小・南部小の体育館のトイレ改修については、児童生徒の利用に留まらず、町民への社会体育等への開放や災害時での避難場所になることも考えて、早急に対応していただきたい。また、空調設備についても昨今の気象状況や他市町の動向を踏まえながら、体育館への設置を考えていただきたい。 ○ 学校プールの維持管理と交流センター内のプール活用については各学校の年間カリキュラムにも関わることなので、慎重かつ迅速に計画を進めていただきたい。 ○ 今後 5 年間の工事計画が策定され、長期を見据えた広い視野での取り組みを大いに評価し期待している。	
施策名	4 安心安全な学校給食センター運営
○ 給食献立コンテンツ作成事業「AGUMOGU（あぐもぐ）給食レシピ 50」については、カラフルで丁寧なレシピ集になっており、献立の紹介だけにとどまらず、ホームページに掲載することで家庭と学校、子どもをつなぐ「健康便り」として役立つことを願い、大いに評価する。今後も定期的に発信していただきたい。 ○ アレルギー対応除去食提供については、単に除去給食を提供するだけでなく、保護者との面談を通して個々に沿ったアレルギー対応に関して指導助言を続けられていて高く評価できる。「食物アレルギー対応委員会」の設置についても町当局への積極的な働きかけをお願いしたい。 ○ 栄養士が給食の献立を立てるのに、子どもたちに必要な栄養を維持するためには少し余裕があるくらいの「給食費」の増額が不可欠である。保護者負担の増額か公費負担の増額か、また、その額等について、関係各位で早急に審議されたい。	

施策名	5 魅力ある生涯学習機会の提供
○ 〈こどものまちあぐいっこ Town〉 2日間で564名もの子どもが参加し、大変盛り上がったように思う。スタッフとして参加した子どもが小4から高校生までと幅広く、9回ものスタッフ会議の活動を通しての学びも大きいのではないかと感じる。模擬店を楽しむだけでなく、「社会性を育てる」という目的に沿った取り組みがされていることは大変評価できる。 また、委託から3年目が過ぎ、中学生を巻き込むなど、もうひと工夫が必要となってきたとも感じる。体験と学びが楽しさとなっていくように期待している。 ○ 〈親子スポーツ体験〉 参加家族が前年度の3から17に増加したのはコロナが明けたことだけでなく、募集のための広報の仕方やチラシのデザイン等の工夫があったからだと感じる。また、スポーツ推進委員の指導もあって、ニュースポーツとして人気となり、長く親しまれていくように願っている。 ○ アグピアホールで行われた「男女共同参画講演会」の参加者が47名に留まってしまったのはとても残念である。参加者の9割の方が「満足した」と回答されているだけに「もったいない」感がある。大人だけに限らず、中高生にも強く参加を呼び掛けてはどうか。	
施策名	6 多様な学習機会の提供
○ コロナの影響が薄まったとは言え、「生きがい教室・講座」を前年度の13から19に増やして実施されたことは大いに評価できる。募集定員に満たなかった講座がいくつか見られるが、実施してみて分かることもあり、次年度の講座の開設に生かしていただきたい。 ○ 6つの「マイスタディ講座・マイプロデュース講座」の中には受講者数が定員の5割を下回ったものもあるが、町民の主体性を尊重する上でもできるだけ実施する方向で進めていただきたい。中には「続けてまたやりたい」と、サークルができた講座もあったそうだ。今後も継続して参加できるような魅力的な学習機会を提供していただきたい。 ○ 少年少女発明クラブは、子どもの豊かな創造性を育てる体験クラブとして、指導者の方々にはとても感謝をしている。クラブ員も増加し、対応も大変だと思う。今後も子どもたちの夢の実現に向けて、変わらぬご指導をお願いしたい。 ○ 【自己評価・今後の課題】には、他部署の中にアグピアホールの設備を扱える職員が増えているという報告があった。公民館業務に対する周りから	

の理解や支援が広がってきているように見えてとても良いことだと思う。その中で土日開催の講座が3講座から9講座に増えている。平日に仕事を持つ参加者にとってはありがたいことだが、一部の職員の方に負担が掛かりすぎることにならないよう配慮していただきたい。	
施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
○ 新たな講座や、魅力のある記念講演会を開催するなど、町民の生涯学習活動に貢献しようとする姿勢は素晴らしいと思う。図書館が幅広い世代に支持されていることを大いに評価したい。 ○ 読書に親しむ習慣を子どもの時期に身に付けてもらえるよう、親子で参加できるお楽しみ会等のイベントを今後も継続して実施していただきたい。 ○ 図書館勤務は公民館勤務同様に、サービス業的な要素も強く、土日祝日の勤務体制については根本的に見直しをする必要があるのではないかな。	
施策名	8 スポーツ施設における設備と利活用の推進
○ 「スポーツ村施設整備」では、多額の予算が投入され、“スポーツのまち・阿久比”の具現化に向けて取り組む姿勢がうかがわれ、大いに評価できる。今後も老朽化したり、使用目的変更などで整備が必要な箇所も多くなってくると予想される。どれも町民の利用状況の高い施設であり、スポーツ施設のため、特に安心安全な施設としての整備をお願いしたい。 ○ 「交流センター」にトレーニング室が入ったり、現存のプールが温水プールに改修されたりする計画もあるようで、交流センターを核として、スポーツ村がより多くの町民の方々に愛され、活用される場となることを願っている。広く周知されるようにいろいろな行事の計画やPR活動に励んでいただきたい。 ○ 「ふれあいの森利用状況」ではデイキャンプの利用者が1,000名に達したことは良かったと思う。また、パターゴルフ・体育室の利用者数も増加傾向にあり評価できる。 ○ 町制70周年記念事業として実施した様々なスポーツ教室は一流のプレイヤーと身近に親しむよい機会であった。今後も子どもたちがスポーツの魅力に触れる機会を継続的に提供していただきたい。	